

令和3年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目（単位数）	科学と人間生活（2）	学年	1	類型	全クラス
----	----	---------	------------	----	---	----	------

学習目標	人間生活を科学の観点から捉え、身近な事物・現象に関する観察や実験を通して、科学に対する興味や関心を高めるとともに、21世紀の科学技術社会において必要とされる科学リテラシーの内容やその考え方を養う。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価
年度初～	第4編 地球や宇宙の科学 第1章 自然景観と自然災害 第2章 太陽系における地球	・地球の内部構造について理解する。 ・火山噴火と地震について理解する。 ・日周運動と自転の関係、年周運動と公転の関係について理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
～期末考査	視覚器と聴覚器 植物の光合成	・視覚器と聴覚器について理解できる。 ・明暗調節や色の識別方法について理解できる。 ・音の聞こえるしくみを理解できる。 ・陽生植物と陰生植物の違いを理解できる。 ・光合成曲線を理解できる	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末 ～2学期 中間考査	植生遷移とバイオーム	・植生遷移の方向性について理解できる。 ・世界のバイオームを理解できる。 ・日本のバイオームを理解できる。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間 ～期末考査	ミクロメーターを用いた顕微鏡観察	・顕微鏡の使用方法を理解できる。 ・ミクロメーターを用いて対象物の大きさを測定することができる。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末 ～3学期 学年末考査	生態系とその保全	・生態系とその成り立ちを理解できる ・物質循環とエネルギーの流れを理解できる。 ・生態系のバランスと保全について考えることができる。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
3学期 学年末考査 ～年度末	生物の体内環境	・体液の種類と血液の循環を理解できる。 ・血液凝固の仕組みを理解できる。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	「新科学と人間生活」教研、プリント（教科書内容を超えた発展的内容に関しては、プリント等で補充を行う。）
学習方法	授業と復習 (予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)
評価方法	①定期考查 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み

令和3年度（2021年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目（単位数）	科学と人間生活（2）	学年	1	類型	全クラス
----	----	---------	------------	----	---	----	------

学習目標	人間生活を科学の観点から捉え、身近な事物・現象に関する観察や実験を通して、科学に対する興味や関心を高めるとともに、21世紀の科学技術社会において必要とされる科学リテラシーの内容やその考え方を養う。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考查			取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間 ～期末考查	第3編 熱や光の科学 第2章 光の性質とその利用 1 波の性質 2 光の種類と性質 5 電磁波の性質と利用	・波の基本的な性質を理解する。 ・光のスペクトルや光の性質、光速の測定方法についての理解する。 ・電磁波の性質と身の回りにおける利用法について理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末 ～2学期 中間考查	第3編 熱や光の科学 第2章 光の性質とその利用 3 光の進み方 4 光の回折と干渉	・波動性をもつ光の伝わり方や回折、干渉の現象について、具体的な事象を確認しながら理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間 ～期末考查	第3編 熱や光の科学 第1章 熱の性質とその利用 1 熱と温度 2 熱と仕事	・仕事の定義について理解する。 ・熱現象の基本的な性質について理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末 ～3学期 学年末考查	第3編 熱や光の科学 第1章 熱の性質とその利用 3 エネルギーとその移り変わり	・エネルギーの定義、仕事とエネルギーの関係、エネルギー保存について理解する。 ・熱と仕事の関係について理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
3学期 学年末考查 ～年度末	課題研究	・長期休暇中に取り組んだ課題研究を振り返り、適切なテーマ設定や研究の取り組み方について理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	「新科学と人間生活」数研、プリント（教科書内容を超えた発展的内容に関しては、プリント等で補充を行う。）
学習方法	授業と復習 (予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み

令和3年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目（单位数）	物理基礎・物理（4）	学年	2	類型	理系
----	----	---------	------------	----	---	----	----

学習目標	日常生活の自然現象についての観察・実験を通して、基本的な概念や原理・法則を理解させ、その基本概念・法則を基に様々な現象を理論的に実証していく思考力と論理性・探究心を育てる。
------	----------------------------------------------------------------------------------------

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考查	総合物理①第1編 力と運動 第1章 運動の表し方	・速度や加速度など、大きさと向きを持つ物理量が扱えるようになる。 ・等加速度直線運動の式を用いて定量的に理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間 ～期末考查	総合物理①第1編 力と運動 第2章 運動の法則	・さまざまな力について理解し、運動方程式が立てられるようになる。 ・力のモーメントと剛体のつりあいについて理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末 ～2学期 中間考查	総合物理①第1編 力と運動 第3章 仕事と力学的エネルギー 第4章 運動量の保存	・仕事の定義、仕事とエネルギーの関係について学び、力学的エネルギー保存則やそれが成り立つ条件を理解する。 ・運動量保存則と反発係数、力学的エネルギー保存則の使い分けについて理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間 ～期末考查	総合物理①第1編 力と運動 第5章 円運動と万有引力 第2編 熱と気体 第1章 熱と物質	・円運動、単振動という運動の特徴を学び、単振動を表す数式の意味を理解する。 ・熱力学に関する物理量を理解し、さまざまな状態変化に対して立式できる。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末 ～3学期 学年末考查	総合物理①第2編 熱と気体 第2章 気体のエネルギーと状態変化 第3編 波 第1章 波の性質 第2章 音	・理想気体に当てはまる諸法則について学び、気体の状態変化を定量的に理解する。 ・波の基本的な性質について学び、音波の波としての性質について理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
3学期 学年末考查 ～年度末	総合物理②第3編 波 第3章 光	・ドップラー効果の原理について理解する。 ・光の干渉について、具体例を学び干渉の条件がどのように変化するか理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	「改訂版 総合物理①②」数研 「2021 セミナー物理基礎+物理」第一学習社
学習方法	授業と復習 (予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)
評価方法	①定期考查 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み

令和3年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目（単位数）	物理（4）	学年	3	類型	理系
----	----	---------	-------	----	---	----	----

学習目標	日常生活の自然現象についての観察・実験を通して、基本的な概念や原理・法則を理解させ、その基本概念・法則を基に様々な現象を理論的に実証していく思考力と論理性・探究心を育てる。
------	----------------------------------------------------------------------------------------

期間	単元(学習内容)	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考查	総合物理②第3編 波 第3章 光	・光の干渉について、具体例を学び干渉の条件が どのように変化するか理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間 ～期末考查	総合物理②第4編 電気と磁気 第1章 電場 第2章 電流	・オームの法則やジュールの法則など、電流に關 わる法則について理解を深める。 ・キルヒ霍ッフの法則を活用して、直流回路につ いての理解を深める。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末 ～2学期 中間考查	総合物理②第4編 電気と磁気 第3章 電流と磁場 第4章 電磁誘導と電磁波	・磁場や磁束密度などの磁気に関する物理量を理 解する。 ・電流と磁場の相互関係について、定量的、定性 的に理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間 ～期末考查	総合物理②第5編 原子 第1章 電子と光 第2章 電子と原子核	・光の粒子性と粒子の波動性について、具体例を 学ぶことで理解する。 ・水素原子モデルに対するボーアの理論について 理解する。 ・放射線の種類と性質、発生する仕組みについて 理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末 ～年度末	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校物理 に対する理解を深める。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	「総合物理①②」数研 「2020 セミナー物理基礎+物理」第一学習社
学習方法	授業と復習 (予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)
評価方法	①定期考查 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み

令和3年度（2021年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

令和3年度（2021年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目（単位数）	化学（3）	学年	2	類型	理系
----	----	---------	-------	----	---	----	----

学習目標	①原子の構造、電子配置と周期律の関係及び、化学結合、化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応の基本的な概念や法則を理解する。②化学変化に伴うエネルギーの出入り、反応速度および化学平衡を探究し、化学反応に関する概念や法則を理解する。③気体、液体、固体の性質を探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質について理解する。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

期間	単元(学習内容)	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考查	2編 化学反応とエネルギー 2章 電池と電気分解	①電池の原理と反応について理解する。②電気分解の原理と金属のイオン化傾向、ファラデーの法則について理解・習得する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間 ～1学期 期末考查	1編 物質の状態 1章 物質の状態 2章 気体の性質 4章 化学結合と固体の構造	①熱運動と分子間力・気液平衡・蒸気圧曲線・状態図等の考え方について基本的な知識を習得する。②気体の各法則や理想気体と実在気体の意味を理解する。③各結晶の構造と種類について理解・習得する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末 ～2学期 中間考查	1編 物質の状態 3章 溶液の性質 2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光 3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ	①溶液の法則について意味を理解・習得する。②熱化学方程式とヘスの法則について理解・習得する。③化学反応速度の意味と表現方法、濃度・温度・触媒・固体表面積等の影響を理解・習得する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間 ～期末考查	3編 化学反応の速さと平衡 2章 化学平衡 3章 水溶液中の化学平衡 4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の单体と化合物	①化学平衡の意味、ルシャトリエの原理について理解・習得する。②典型元素の单体と化合物の性質や反応を周期表と関連付けて理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末 ～3学期 学年末考查	4編 無機物質 3章 典型金属元素の单体と化合物 4章 遷移元素の单体と化合物 5章 無機物質と人間生活	典型元素と遷移元素の单体と化合物の性質や反応を周期表と関連付けて理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
3学期 学年末考查 ～年度末	無機化学まとめ	無機化学分野の内容を系統立てて理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	「改訂 新編 化学」東京書籍 「六訂版 リードα 化学基礎+化学」数研出版 「四訂版 サイエンスビュー 化学総合資料」実教出版
学習方法	授業と演習
評価方法	①定期考查 ②提出物 ③授業での活動の取り組み

令和3年度（2021年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

令和3年度（2021年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目（单位数）	生物基礎（2）	学年	2	類型	文系
----	----	---------	---------	----	---	----	----

学習目標	日常生活や社会との連携を図りながら生物や生命現象への関心を高め、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------

期間	単元(学習内容)	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考查	予備学習 1. 顕微鏡観察 2. ミクロメーター 第1章 1. 生物の多様性と共通性 2. エネルギーと代謝	・顕微鏡やミクロメーターを適切に使用することができる。 ・生物は多様でありながら共通性を持っていることを理解する。 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間～期末考查	第1章 3. 光合成と呼吸 第2章 1. 遺伝情報とDNA 2. 遺伝情報の発現 3. 遺伝情報の分配	・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 ・遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解する。・DNAが複製、分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解する。 ・DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末 ～2学期 中間考查	第3章 1. 体内環境としての体液 2. 腎臓と肝臓による調節	・体内環境が保たれていることを理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間～期末考查	第3章 3. 神経とホルモンによる調節 4. 免疫	・体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解する。 ・免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末 ～3学期 学年末考查	第4章 1. 植生とその成り立ち 2. 植生の遷移 3. 気候とバイオーム	・陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。 ・気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
3学期 学年末考查 ～年度末	第5章 1. 生態系とその成り立ち 2. 物質循環とエネルギーの流れ 3. 生態系のバランスと保全	・生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解する。 ・生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	「改訂版 生物基礎」数研出版 「リードLightノート 生物基礎」数研出版 「フォトサイエンス 生物図録」数研出版
学習方法	授業と復習 (予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)
評価方法	①定期考査 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み

令和3年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス（案）

教科	理科	科目（単位数）	生物基礎（1）	学年	3	類型	文Ⅰ
----	----	---------	---------	----	---	----	----

学習目標	日常生活や社会との連携を図りながら生物や生命現象への関心を高め、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考查	遺伝の法則	・メンデルの遺伝の法則を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間 ～期末考查	遺伝の法則	・血液型など様々な遺伝の仕組みについて理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末 ～2学期 中間考查	生物の体内環境	・体内環境が保たれていることを理解する。 ・体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間 ～期末考查	生物の体内環境	・体内で様々な細胞が関わることで健康が維持されていることを理解する。 ・免疫と病気の関係について理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末 ～3学期 学年末考查	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
3学期 学年末考查 ～年度末	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	「改訂版生物基礎」数研出版 「フォトサイエンス 生物図録」数研出版
学習方法	授業と復習 (予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)
評価方法	①定期考查 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み

令和3年度（2021年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目（単位数）	生物基礎（2）	学年	3	類型	文II
----	----	---------	---------	----	---	----	-----

学習目標	日常生活や社会との連携を図りながら生物や生命現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考查	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間～期末考查	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末～2学期 中間考查	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間～期末考查	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末～3学期 学年末考查	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
3学期 学年末考查～年度末	総合演習	・既習内容の発展的問題の演習を行い、高校生物に対する理解を深める。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	「改訂版生物基礎」数研出版 「ニューグローバル 生物基礎」東京書籍 「フォトサイエンス 生物図録」数研出版 「チェック＆演習 生物基礎」数研出版
学習方法	予習と授業 (授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)
評価方法	①定期考查 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み

令和3年度（2021年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目（单位数）	生物基礎（2）、生物（2）	学年	2	類型	理系
----	----	---------	---------------	----	---	----	----

学習目標	日常生活や社会との連携を図りながら生物や生命現象への関心を高め、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------

期間	単元(学習内容)	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考査	生物基礎 予備学習 1.顕微鏡観察 2.ミクロメーター 第1章 1.生物の多様性と共通性 2.エネルギーと代謝 3.光合成と呼吸 第2章 1.遺伝情報とDNA 2.遺伝情報の発現 3.遺伝情報の分配	・顕微鏡やミクロメーターを適切に使用することができる。・生物は多様でありながら共通性を持っていることを理解する。・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。・遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解する。・DNAが複製、分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解する。・DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間～期末考査	生物基礎 第3章 1.体内環境としての体液 2.腎臓と肝臓による調節 3.神経とホルモンによる調節 4.免疫	・体内環境が保たれていることを理解する。・体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解する。・免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末～2学期 中間考査	生物基礎 第4章 1.植生とその成り立ち 2.植生の遷移 3.気候とバイオーム 第5章 1.生態系とその成り立ち 2.物質循環とエネルギーの流れ 3.生態系のバランスと保全	・陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。・気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解する。・生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解する。・生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間～期末考査	生物 第1章 1.生体を構成する物質 2.タンパク質の構造と性質 3.酵素のはたらき 4.細胞の構造 5.物質輸送とタンパク質 6.情報伝達・認識とタンパク質	・細胞の内部構造とそれを構成する物質の特徴を理解する。 ・様々なタンパク質が様々な生命現象を支えていることを理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末～3学期 学年末考査	生物 第2章 1.代謝とエネルギー 2.呼吸と発酵 3.光合成 4.窒素同化 第3章 1.DNAの構造と複製 2.遺伝情報の発現	・呼吸によって有機物からエネルギーが取り出される仕組みを理解する。・光合成によって光エネルギーを用いて有機物が作られる仕組みを理解する。・窒素同化について理解する。・DNAの複製の仕組み、遺伝子の発現の仕組み及び遺伝情報の変化を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
3学期 学年末考査 ～年度末	生物 第3章 3.遺伝子の発現調節 4.バイオテクノロジー	・原核生物と真核生物の遺伝子の発現調節の仕組みを理解できる。・バイオテクノロジーとその応用について理解し、その活用方法について考えることができる。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	「改訂版 生物基礎」「改訂版 生物」数研出版 「フォトサイエンス 生物図録」数研出版 「リードLightノート 生物基礎」「リードLightノート 生物」数研出版
学習方法	授業と復習 (予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)
評価方法	①定期考查 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み

令和3年度（2021年度） 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

令和3年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目（単位数）	地学基礎（2）	学年	2	類型	文系
----	----	---------	---------	----	---	----	----

学習目標	地球や地球を取り巻く環境に関する基本的な概念や原理・法則を理解させ、地学的な探究の方法を身につけさせないようにするとともに、地球の自然環境と日常生活や社会との関わりを考えることができるようとする。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考查	第1部 固体地球とその変動 第1章 地球 1 地球の概観 2 地球の内部構造	・古代の地球の形と大きさの測定法を理解する。 ・地球の形は楕円体であることを理解する。 ・地球内部の層構造と構成物質を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間～期末考查	第2章 活動する地球 1 プレートと地球の活動 2 地震 3 火山活動と火成岩の形成	・プレートの動きと境界について理解する。 ・地震の分布とメカニズムの関係を理解し、防災意識を高める。 ・火山の分布とプレートテクトニクスの関係を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末～2学期 中間考查	第2部 移り変わる地球 第1章 地球史の読み方 1 堆積岩とその形成 2 地層と地質構造 3 地層と歴史の区分と化石	・風化、侵食、堆積作用と地形との関係を知る。 ・地層累重の法則や堆積構造を理解する。 ・化石の意義を理解し地層の対比を行い、地質時代を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間～期末考查	第2章 地球と生命の進化 1 先カンブリア時代 2 頸生代	・地球誕生以来の地球の歴史における先カンブリア時代を考察し、各時代の出来事を理解する。 ・生物の進化と地球環境の変化を考察し、各時代の出来事を理科する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末～3学期 学年末考查	第3部 大気と海洋 第1章 大気の構造 1 大気圏 2 水と気象	・大気の組成と気圧および大気の層構造と特徴を理解する。 ・対流圏での水の状態変化と気象現象について理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
3学期 学年末考查～年度末	第2章 太陽放射と大気・海水の運動 1 地球のエネルギー収支 2 大気の大循環 3 海水の循環	・地球のエネルギー収支と温室効果を理解する。 ・熱の輸送と大気の大循環の関係を理解し、風吹き方を知る。 ・表層海流と大気の大循環の関係や深層循環を理解し、長期の気候変動について考察する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	<p>「地学基礎」啓林館</p> <p>「ニュースステージ新訂地学図表」浜島</p> <p>「研究ノート」博洋社</p>
学習方法	<p>授業と復習</p> <p>(予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)</p>
評価方法	<p>①定期考查</p> <p>②提出物</p> <p>③授業で行う活動への取り組み</p>

令和3年度 熊本県立人吉高等学校 全日制 シラバス

教科	理科	科目（単位数）	地学基礎（2）	学年	3	類型	文系
学習目標	地球や地球を取り巻く環境に関する基本的な概念や原理・法則を理解させ、地学的な探究の方法を身につけさせるようにするとともに、地球の自然環境と日常生活や社会との関わりを考えることができるようとする。						

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考查	第3章 日本の天気 1 日本の位置 2 冬から春の天気 3 夏から秋の天気	・偏西風と大陸と海の影響を理解する。 ・各季節の特徴を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間 ～期末考查	第4部 宇宙の恒星 第1章 太陽系と太陽 1 太陽系の天体 2 太陽系の誕生 3 太陽	・地球型と木星型の特徴を理解する。 ・太陽系の誕生について考察し、惑星の内部構造を理解する。 ・太陽の概観やその活動と地球への影響を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末 ～2学期 中間考查	第2章 恒星としての太陽の進化 1 太陽と恒星 2 太陽の誕生と進化	・星の明るさ、色、距離などの基礎を理解する。 ・太陽の誕生からの進化を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間 ～期末考查	第3章 銀河系と宇宙 1 銀河系とまわりの銀河 2 宇宙の姿	・銀河系の構造を理解する。 ・銀河の分布と宇宙の姿を理解する。 ・宇宙の誕生から膨張する姿を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末 ～年度末	第5部 自然との共生 1 地球環境と人類 2 火山・地震災害と社会 3 気象災害と社会 4 人間生活と地球環境の変化	・地字的事象のスケールをイメージする。 ・火山、地震、気象災害と社会的なつながりを理解する。 ・オゾン層の破壊、温暖化、エルニーニョ、酸性雨などの環境変化について理解し、今後に及ぼす影響について考察する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	「地学基礎」啓林館 「ニュースステージ新訂地学図表」浜島 「研究ノート」博洋社 「センサー地学」啓林館 「チェック＆演習地学基礎」数研
学習方法	授業と復習 (予習を課していない分、授業への取り組み方で大きく成績が変動してしまうので、積極的に授業に参加すること)
評価方法	①定期考查 ②提出物 ③授業で行う活動への取り組み